

2026 年度入試 外国人留学生入学試験
(日本語小論文:問題、出題意図、評価方法、解答例)(史学科)

問題

つぎの①～③のうち一つを選び、具体的な人物や出来事などに言及しながら、できるだけ幅広い視点から説明せよ(横書き、600 字以上)。

①古代中国の政治思想について

「天」にまつわる「天下」「天命」「天子」などに関してひととおり説明できていること、また中華と四夷の華夷意識についても言及がなされていることを条件として 60 点を付与。

その上で、五服九畿、禹貢九州、封建郡県、三公九卿、孔孟老荘などなど、具体的な観念・事物・制度・思想に関する記述の精粗によって加点をおこなう。

②近代以前の日中関係史について

漢書地理志・魏志倭人伝など最古の記述から、南北朝・隋唐に至る日本の遣使についておさえられていること、またその後は明代を除いて正式な国交がなかったが、民間の商人や僧侶の往来によって経済や文化の交流は継続していたことをひととおり述べられていれば 60 点。

その上で、個々の人物・事物・技術・思想などの具体的な伝来が述べられていれば、それらの精粗に応じて加点する。

③日露戦争(1904～05 年)前後の東アジアについて

まず、世紀転換期(19 世紀末・20 世紀初め)の清朝中国をめぐる西洋列強・日本による分割・権益獲得競争と義和団事件の発生・結末について述べる。そのうえで、満洲・朝鮮半島をめぐる日露対立と戦争の発生にいたる経緯を説明する。続けて、日露戦争後における清朝中国の動向、日本の対満洲政策、日本による朝鮮半島植民地化の過程を論じていく。1910 年の韓国併合、翌年の辛亥革命と清朝崩壊あたりまでをカバーしていればよい。

以上の論述のなかで、具体的な事柄や人物などがどの程度盛り込まれているかによって加点する。